

大規模施設整備に伴う
財政負担規模（試算）の検討について

令和6年5月

亀山市

1.本資料の位置付け

本市を取り巻く財政状況が大変厳しい中、持続可能な行財政運営を進める上で、今後、大規模整備が必要となる施設について、現時点において可能な範囲で諸条件を仮定し、将来にわたる財政負担規模を想定するため本資料を作成しました。

資料の作成に当たっては、整備等を計画化する前段階の検討資料を引用したほか、現時点の相場などによる仮設定も含まれるため、実際の施設整備に係る方向性や実施時期、整備費を示すものではありません。

本資料を踏まえ、市全体の施設整備のあり方や方向性、規模や実施時期などについて検討を行い、最終的に、市総合計画への反映の参考とするものです。

2.検討対象とする大規模施設と前提条件

①新庁舎整備

亀山市新庁舎整備基本計画（令和5年7月）に基づき整備を行うこととします。

②学校施設等長寿命化

亀山市学校施設等長寿命化計画（令和6年3月）の実施計画推奨案を基に、現段階における建物の経過年数、緊急度等を踏まえ諸条件を仮定しました。

③新ごみ処理施設整備

焼却施設（ストーカ炉（50t/日））及び二軸せん断式破砕機を整備する場合を仮定しました。

④新し尿処理施設整備

現施設と同処理能力（60k ℓ /日）の施設を整備する場合を仮定しました。

3.試算

（1）総事業費の推移【図1】

各施設の老朽化の程度や機能の維持を考慮し、望ましい時期に事業着手することを想定した場合、総事業費は新庁舎整備と学校施設等長寿命化により令和11年度に約75億円となり、その後も学校施設等長寿命化と新ごみ処理施設整備が重なる令和15年度から令和18年度までは、毎年20億円を超える試算となります。

また、新し尿処理施設整備と学校施設等長寿命化が重なる令和21年度から令和23年度においては、毎年10億円を超える試算となります。

（2）一般財源負担額の推移【図2】

各施設の整備事業費等から充当できる特定財源や起債及び公債費の償還分として算入される普通交付税を除く一般財源負担額の推移は、新庁舎整備の用地購入に係る令和7年度の7億円の後、施設整備による一般財源負担額の増加と起債の償還により令和15年度からは毎年6億円を超える状況が20年以上継続する試算となります。

①新庁舎整備に係るスケジュールと財源内訳

1. 新庁舎の整備スケジュール

R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
・用地交渉、用地取得 ・建設諸条件の精査		基本設計	実施設計	建設工事等		開庁

2. 新庁舎整備における財源等

(1) 財源

総事業費	特定財源	起債	庁舎建設基金	一般財源
95 億円	5 億円	55 億円	20 億円	15 億円

- ・特定財源は、ZEB(環境配慮型)庁舎等に係る補助金を想定しています。
- ・起債は、一般単独事業債(充当率75%)を想定しています。

(2) 基金の積立て目標額等

年度	2023年(R5)	2024年(R6)	2025年(R7)	2026年(R8)	2027年(R9)
積立額	0.5 億円	1 億円	1 億円	2 億円	2 億円
基金残高	14 億円	15 億円	16 億円	18 億円	20 億円

- ・基金活用指針における庁舎建設基金の積立て目標額(15億円)の見直しを前提に設定しています。

(3) 年度別の概算経費及び財源内訳

年度	取組等	概算 事業費	内 訳			
			特定 財源	起債	基金	一般 財源
2023年(R5)	建設予定地決定	—	—	—	—	—
2024年(R6)	用地交渉・取得	7 億円	—	—	—	7 億円
2025年(R7)						
2026年(R8)	基本設計 実施設計	3 億円	—	2 億円	—	1 億円
2027年(R9)						
2028年(R10)	建設工事 備品・システム費等	85 億円	5 億円	53 億円	20 億円	7 億円
2029年(R11)						
2030年(R12)	新庁舎開庁	—	—	—	—	—

(4) 起債(元利償還金)の償還シミュレーション

償還期間 25 年/据置期間 3 年/利率 2%で試算しています。

②学校施設等長寿命化に係るスケジュールと財源試算

1. 学校施設等長寿命化スケジュール

R8	R9	R10	R11	R12
調査・設計(R9~R11 実施分)	①亀山中学校屋内運動場	②亀山中学校校舎	調査・設計(R12~R13 実施分) ②亀山中学校校舎	①亀山東小学校校舎 ②亀山東小学校屋内運動場
R13	R14	R15	R16	R17
①亀山東小学校校舎 ③亀山東小学校給食室	調査・設計(R15~R16 実施分)	①中部中学校校舎 ②中部中学校屋内運動場	①中部中学校校舎 ③中部中学校階段室	調査・設計(R18以降実施分)

2. 学校施設等長寿命化改修における財源等 (R8~R17 実施分)

(1) 財源

総事業費	特定財源	起債	一般財源
43 億円	5 億円	30 億円	8 億円

- ・実施期間における総事業費及び財源内訳は、億円単位で表記しています。
- ・特定財源は、学校施設環境改善交付金(補助率 1/3)を想定しており設計費及び監理費も対象になりますが、過去の他事業における交付実績等を勘案し、概算工事費の 1/9 で試算しています。
- ・起債は、学校教育施設等整備事業債(充当率 90%・75%)で試算しています。

(2) 年度別の概算経費及び財源内訳

年度	取組等	概算事業費	内 訳		
			特定財源	起債	一般財源
2026 年 (R8)	改修工事設計	1.16 億円	0.13 億円	0.81 億円	0.22 億円
2027 年 (R9)	亀山中学校屋内運動場工事	2.77 億円	0.3 億円	1.94 億円	0.53 億円
2028 年 (R10)	亀山中学校校舎	4.69 億円	0.52 億円	3.28 億円	0.89 億円
2029 年 (R11)	改修工事設計 亀山中学校校舎	5.69 億円	0.63 億円	3.98 億円	1.08 億円
2030 年 (R12)	亀山東小学校校舎 亀山東小学校屋内運動場	6.4 億円	0.71 億円	4.48 億円	1.21 億円
2031 年 (R13)	亀山東小学校校舎 亀山東小学校給食室	4.43 億円	0.49 億円	3.1 億円	0.84 億円
2032 年 (R14)	改修工事設計	1.52 億円	0.17 億円	1.06 億円	0.29 億円

年度	取組等	概算 事業費	内 訳		
			特定 財源	起債	一般 財源
2033年 (R15)	中部中学校校舎 中部中学校屋内運動 場	9.32 億円	1.03 億円	6.52 億円	1.77 億円
2034年 (R16)	中部中学校校舎 中部中学校階段室	6.6 億円	0.73 億円	4.62 億円	1.25 億円
2035年 (R17)	改修工事設計	0.86 億円	0.1 億円	0.6 億円	0.16 億円
2036年 (R18) 以降 2054年 (R36) まで	各学校改修 (各年)	3 億円	0.33 億円	2.09 億円	0.58 億円

- ・概算工事費については、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づく単価により算出したものです。(長寿命化計画と同様の算出手法)
- ・設計費については、改修工事費の10%、監理費については改修工事費の5%を計上しています。
- ・2036年度 (R18) 以降は、状況に応じて学校施設等の長寿命化を実施することを想定し、2054年 (R36) までの19年間、毎年3億円を計上しています。
- ・2036年度 (R18) 以降の財源内訳は、2035年度 (R17) までの試算割合を基に算出しています。

(3) 起債(元利償還金)の償還シミュレーション

償還期間15年/据置期間3年/利率2%で試算しています。

③新ごみ処理施設整備に係るスケジュールと財源試算

1. 新ごみ処理施設整備スケジュール

R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12~R13	R14	R15~R18	R19
施設整備 基本構想		施設整備基 本計画、建設 候補地基礎 調査		事業 方式 検討	事業者 選定	生活環境 影響調査 ピット改造工 事	基本設計 実施設計	建設工事	新施設 稼働

2. 新ごみ処理施設整備における財源等

(1) 財源

総事業費	特定財源	起債	一般財源
87 億円	27 億円	49 億円	11 億円

- ・総事業費及び財源内訳は、億円単位で表記しています。
- ・総事業費は、現環境センター敷地内で建設すると想定し諸費用を試算しています。
- ・特定財源は、国の循環型社会形成推進交付金（交付率1/3）で試算しています。
- ・起債は、一般廃棄物処理施設整備事業債（充当率90%）で試算しています。

(2) 年度別の概算経費及び財源内訳

年度	取組等	概算 事業費	内 訳		
			特定 財源	起債	一般 財源
2024年(R6)	施設整備基本構想	—	—	—	—
2025年(R7)		0.2 億円	—	—	0.2 億円
2026年(R8)	施設整備基本計画	0.5 億円	0.16 億円	—	0.34 億円
2027年(R9)	建設候補地基礎調査				
2028年(R10)	事業方式検討	—	—	—	—
2029年(R11)	事業者選定	—	—	—	—
2030年(R12)	生活環境影響調査 ピット改造工事	1 億円	0.33 億円	—	0.67 億円
2031年(R13)		3 億円	—	—	3 億円
2032年(R14)	基本設計 実施設計	1 億円	0.33 億円	0.42 億円	0.25 億円
2033年(R15)	建設工事	81 億円	26.4 億円	48.99 億円	5.61 億円
2034年(R16)					
2035年(R17)					
2036年(R18)					
2037年(R19)	新施設稼働	—	—	—	—

- ・新施設稼働までの間、年間約8～9億円のランニングコストが必要となります。

(3) 起債(元利償還金)の償還シミュレーション

償還期間25年/据置期間3年/利率2%で試算しています。

④新し尿処理施設整備に係るスケジュールと財源試算

1. 新し尿処理施設整備スケジュール

R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
施設整備基本構想		施設整備基本計画	建設候補地基礎調査	事業者選定	生活環境影響調査	基本設計 実施設計	建設工事			新施設稼働

2. 新し尿処理施設整備における財源等

(1) 財源

総事業費	特定財源	起債	一般財源
28 億円	9 億円	16 億円	3 億円

- ・総事業費及び財源内訳は、億円単位で表記しています。
- ・総事業費は、現衛生公苑敷地内で建設すると想定し諸費用を試算しています。
- ・特定財源は、国の循環型社会形成推進交付金（交付率1/3）で試算しています。
- ・起債は、一般廃棄物処理施設整備事業債（充当率90%）で試算しています。

(2) 年度別の概算経費及び財源内訳

年度	取組等	概算事業費	内 訳		
			特定財源	起債	一般財源
2032年(R14)	施設整備基本構想	0.2 億円	—	—	0.2 億円
2033年(R15)					
2034年(R16)	施設整備基本計画 建設候補地基礎調査	0.5 億円	0.16 億円	—	0.34 億円
2035年(R17)					
2036年(R18)	事業者選定	—	—	—	—
2037年(R19)	生活環境影響調査	0.5 億円	0.16 億円	—	0.34 億円
2038年(R20)	基本設計、実施設計	1 億円	0.33 億円	0.42 億円	0.25 億円
2039年(R21)	建設工事	26 億円	8.6 億円	15.6 億円	1.8 億円
2040年(R22)					
2041年(R23)					
2042年(R24)	新施設稼働	—	—	—	—

- ・新施設稼働までの間、年間約1億円のランニングコストが必要となります。

(3) 起債(元利償還金)の償還シミュレーション

償還期間25年/据置期間3年/利率2%で試算しています。